

阿賀店調剤

マリン通信をご覧の皆様♪阿賀店の萩川です。このゴールデンウィークに熊本へ行ってきました。遊びでもなく、観光でもなく…何か力になりたいくて。友人達と夜中に車で出発し、到着したのは朝7時。降り立った瞬間は「本当にここが被災地？」と疑うほど、日常があふれていました。確かに、熊本城の屋根や石垣は崩れていましたが、お堀の周りをランニングする人や普通の観光客もいて…そして、ボランティアに参加できなかった人の団体が駅に向かう姿が。私は先に活動をしていた友人達と合流して、とある施設に向かうことになりました。移動を始めてしばらくすると、道が歪み車はガタガタと揺れ始め、道端には壊れた家具や割れたガラスがまとめて置かれている状況が目に入るようになり、屋根をブルーシートで覆った家が増えてきました。活動拠点に着き、施設に入るとそこはまだ震災後手付かずのままで、何もかもが倒れ、窓ガラスはすべて割れており、雨が入り込んで廃墟のような状態でした。「1日でも早く元に戻さなくちゃ！」そんな思いで3日間、一生懸命片付けに専念しました。ボランティアの心得の1つ。「震災場所の写真は撮らない」被災した方々は見たくもない現実。そんな風景を写真に撮ることは出来ません。だから、想像して下さい。蛇口をひねれば水やお湯が出て、スイッチを押せば電気がつきガスに火が灯る。目が覚めれば「おはよう」と声をかける家族が居て、会社に行けば同僚と冗談を言いながら笑っている。そして「ただいま」と言って帰る家がある。そんな当たり前の日常がすべて一瞬で無くなってしまう事を。私が無事に活動を終えたとき、熊本の方々が「本当にありがとう」と涙を浮かべながら握手をして下さいました。でも…本当にありがとうと言うべきなのは私なのかもしれません。今、目の前にある幸せに気づかせてくれたのだから。熊本でボランティアをしている9割の方が自分も被災した現地の方だそうです。自分が辛い時に誰かの役に立ちたいと思えるなんて本当にすごい事です。最後に、この度の震災で亡くなった方の冥福をお祈りすると共に、被災した方々にエールを送ります。「ふんばれ！！熊本！！ また必ず行くから！！」



阿賀店

マリン通信を読んでくださっている皆様、こんにちは。和田です。



体調の崩れやすい時期でしたが、4月は快適に過ごせましたか？私は桜を見に行けなかったのが、ちょっと悔しくて近所にある文化センターの桜を見に行きましたよ。軽い運動がてら歩いて行って、ちょっと眺めて、でもお腹が空いたのでお昼前には家に帰ってきました。妹は『姉ちゃん、一体何しに行ったん？』と不思議顔。いいんです。個人的にはとても満足しました（笑）。そんなよく分からん私ですが、最近の休日は家に閉じこもって、事前に地元や広の図書館で借りてきた本を、朝から晩までまとめて一気に読みして過ごしています。色々読みますが、基本的には、小学生の子供さんが読むような本が大好きなんです。夏休みに入ると、図書館の入口には『課題図書』『読書感想文におすすめ』っていうコーナーが作られていますよね？ああいう児童書が一番好きなんです。やっぱり子供っぽいんでしょうか……？今一番のお気に入り、上橋菜穂子さんの『精霊の守り人』シリーズ。中学校の図書室にこの本が置いてあったのをきっかけに、上橋さんの大ファンになりました。少し前、NHKで綾瀬はるかさん主演で実写化されていましたね。この方の文章はとても読みやすく、独特な世界観が魅力的！物語の登場人物と一緒に旅をしているような思いになり、頭の中でどんどん想像が膨らんでいきます。上橋さんの小説はどれも、読み始めはいつもドキドキ・ハラハラとしているのですが、読み終わる頃には心が静かに落ち着いて、どこか寂しいような不思議な気持ちになるんです。そんな素敵な上橋菜穂子さんの新刊、『鹿の王』。新刊と言っても2014年9月に発売されているのですが、どこの図書館に行っても、まだ『予約待ち』の状態なんです。その為、早く読みたい…！という気持ちを抑えきれず、予約の順番が回って来る前に、なんと電子書籍で読んでしまいました。だって読みたいです、2015年本屋大賞第1位。同時に日本医療小説大賞も取られていますが、専門用語も使わないし、決して難しいことはないんです。とても読みやすく素敵な作品ですので、皆様も是非、読んでみてください。とても面白かったですよ♪(*^^*)